ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

Press Release

報道関係者　各位

新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用例について

９月１８日、兵庫県神戸市より、新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用例について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

資料提供（平成２１年９月１８日）
神戸市新型インフルエンザ対策本部（保健福祉局健康部地域保健課）　川瀬、小西
ＴＥＬ：０７８－３２２－５２５６　内線３３１０～１
E-mail：tiikihoken@office.city.kobe.lg.jp

新型インフルエンザ患者の人工呼吸器使用症例について

神戸市内で新型インフルエンザ患者に人工呼吸器を使用した症例が確認されましたのでお知らせいたします。

◆患者概要◆

神戸市在住、13歳、男児、基礎疾患として気管支ぜん息あり

現在は、人工呼吸器を装着していますが、容体は快方に向かっています。

◆経緯◆

9月14日（月）

午後から発熱あり、近くの医療機関を受診。インフルエンザ迅速診断Ａ型（－）であり、風邪と診断され帰宅。

9月15日（火）

前日と比べて症状が悪化し再度受診。他の医療機関を紹介され受診。肺炎、無気肺を認められ、市内の別の医療機関に入院。

体温39度、迅速診断Ａ型（＋）、呼吸状態悪く、直ちに気管内挿管され人工呼吸管理となった。タミフル投与開始。

9月16日（水）

体温40度まで上昇。呼吸状態変わらず。

9月17日（木）

体温37～38度。

環境保健研究所によるＰＣＲ検査により新型インフルエンザの感染を確認。

9月18日（金）

呼吸状態改善、快方に向かっている。

※　患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いします。